

水通信



「水通信」は、水資源機構全体や中部管内における取り組みに関する情報を、中部管内の関係者（関係県、関係市町村、関係土地改良区、およびその他関係機関）の皆様方に、直接配信させていただいております。

※目次の事業所名等をクリックすると、その事業所等の記事に移動します。

目次

☆ [【巻頭言】](#)

- 木曾川水系連絡導水路建設所長 森合 正人

☆ [【中部管内水源情報】](#)

☆ [【新着情報】](#)

[中部支社](#)

- イベントの紹介「第19回 中部の未来創造大賞」の募集について

[豊川用水](#)

- 平成30年度事業部安全標語の表彰式を行いました

[木曾川水系連絡導水路](#)

- 長良川の鶴飼いが開幕！！

[愛知用水](#)

- 中日本レガッタが開催されました
- 愛知学院大学産官学連携授業で愛知池に関する講義を行いました
- クリーンアップ愛知池を実施しました！

[木曾川用水](#)

- カビ臭物質対策（フラッシング操作）を実施
- 八百津町木曾川右岸用水土地改良区役員による視察
- 木曾川を美しく！児童が河川清掃
- 利水者・関係事業者と水質協働学習会を開催

[岩屋ダム](#)

- 岩屋ダムで校外学習が行われました

[阿木川ダム](#)

- 洪水対応演習に引き続き、洪水調節を行いました

[徳山ダム](#)

- 徳山ダム洪水吐きからの点検放流を行いました
- 揖斐川町内の小学生が徳山ダムの体験学習を行いました

[長良川河口堰](#)

- 第23回木曾三川交流レガッタに参加しました！

[味噌川ダム](#)

- 地域の物産に貢献する味噌川ダム

[三重用水](#)

- 赤川の清掃活動を実施しました

☆ [【イベントカレンダー】](#)

- 平成30年6月

☆ [【編集後記】](#)

- 担当課 中部支社事業部設備課

巻頭言

【木曾川水系連絡導水路建設所長 森合 正人】

このたび木曾川水系連絡導水路建設所長として着任しました森合正人（もりあいまさと）です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

木曾川水系連絡導水路は、揖斐川、長良川、木曾川をつないで水源である徳山ダムの水を導水する事業で、これにより東海地域に木曾三川の水の恵みがいきわたるものと考えています。平成18年度から事業がスタートして現在はダム検証に係る検討を行っている最中です。

ダム検証に係る検討は、利水者の愛知県、名古屋市のほか地元揖斐川町をはじめとする多くの関係する皆様の多大なご協力をいただきながら、導水路に代わる代替案との比較検討など事業の点検を進めているところです。引き続き手続きが円滑に進むように努めて参ります。

前任地は埼玉県にある利根導水総合事業所でした。同じ「導水」の名前の入っている事業所です。そこでは延長100kmを超える水路や50年前に利根川と荒川をつないだ「武蔵水路」の管理に携わりました。平成28年と平成29年には関東地方は渇水でしたが「武蔵水路」も活躍して流域の水需要を支えました。木曾川水系連絡導水路建設所では前任地の導水路管理の経験をしっかりと生かして業務に取り組んで参ります。

味噌川ダムの建設時代に長野県にしばらく住んでいました。久しぶりの中部地方の勤務になります。由緒ある建造物や名所が近くに沢山あるので訪れて楽しみたいと思います。

中部管内水源情報

【中部管内水源情報】

中部管内の各ダムにおける5月30日現在の降雨及び利水貯水率については、下表のとおりとなっています。

木曾川水系の4ダム（牧尾・岩屋・阿木川・味噌川ダム）の5月降雨量は平年を上回る状況（平年比109%～163%）となっており、4ダム合計の貯水率は96%（平年比115%）と、平年を上回る貯水状況で推移しています。

豊川水系の宇連ダム及び大島ダムの5月降雨量は、平年を大きく上回る状況（平年比177%～204%）となっており、豊川用水全体（宇連・大島ダム、各調整池）の貯水率は91%（平年比110%）と平年を上回る貯水状況となっています。

今後も水需要が多い時期が続きます。引き続き、気象、貯水状況に注視していきます。

中部管内各ダムにおける5月の降雨（平年比）及び利水貯水率（5月30日現在） 単位：（%）

	牧尾ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	岩屋ダム	宇連ダム	大島ダム	中里ダム	徳山ダム
降雨の平年比	109	163	121	120	177	204	93	151
利水貯水率	88.8	100	100	100	90.1	99.5	91.9	100

- ・ 中部支社管内の各ダム貯水状況等は、中部支社HP内の「水源情報」でご覧いただけます。
中部支社HP <http://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>

「水源情報コーナー」

◆リアルタイム情報 <http://www.water.go.jp/mizu/chubu/realtime/index.html>

◆中部管内の水源状況（平日更新） <http://www.water.go.jp/mizu/chubu/report/>

◆ダム貯水状況グラフ、節水情報など

<http://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessuijyouhou29-1.html>

中部支社

○ イベントの紹介「第19回 中部の未来創造大賞」の募集について

「中部の未来創造大賞」は、住民、企業・学校、行政等が取り組んでいる地域づくりの活動を募り、表彰し、広く一般に紹介することによって「多様な主体による協働」によるこれからの新しい中部の「地域づくり」や「防災活動」に役立てていくものです。

そこで、下記のとおり募集します。

1. 応募条件、応募方法等は下記URLへアクセスしてご覧ください。

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/mirai/index.htm>

2. 応募期間

平成30年5月25日～平成30年7月31日

3. 賞

大賞：1件 [賞状、盾、賞金10万円]

優秀賞：3件程度 [賞状、賞金5万円]

特別賞：中部経済連合会賞、中日新聞社賞

4. 応募資料の提出先、問い合わせ先

中部の未来創造大賞推進協議会事務局

〒460-8575 名古屋市中区丸の内三丁目5番10号

名古屋丸の内ビル8F

(一社) 中部地域づくり協会 業務管理部業務課

TEL：052-962-9455

FAX：052-950-1178

E-mail：mirai@ckk.or.jp

豊川用水総合事業部

○ 平成30年度事業部安全標語の表彰式を行いました

4月25日(水)、豊川用水総合事業部で開催しました「平成30年度 第1回豊川用水総合事業部安全協議会」において、事業部安全標語の表彰式を行いました。

安全標語の表彰は、安全意識の高揚と啓発を目的として取り組んでおり、受注者の皆様や機構職員から応募いただいた標語の中から、投票により優秀な作品を選定し、年度当初の事業部安全協議会において、表彰することとしております。

今回は、応募総数48作品の中から、最優秀賞1点、優秀賞1点、佳作3点を選定しました。受賞作品は以下のとおりです。

最優秀賞 「慣れぬ作業に危険あり 慣れた作業に油断あり 基本を守って安全職場」
東芝通信インフラシステムズ(株) 長沢 努 様

優秀賞 「危ないと 言える勇気と 聞くところ」
三基工業(株) 鷺池 友和 様

佳作 「作業手順を守る心が仲間を守る みんなで築くゼロ災害」
あおみ建設(株) 沖西 邦頭 様

佳作 「安全は 人に頼るな 任せるな 自分で築く 安全意識」
東芝通信インフラシステムズ(株) 大沢 秀朗 様

佳作 「「まあいいか」 その一言が 命とり」
(有)岡本環境造園 山本 勝巳 様

最優秀賞に選ばれた作品は、事業部安全協議会の本年度のスローガンとさせていただきます。



木曾川水系連絡導水路建設所

○ 長良川の鵜飼いが開幕！！

1300年以上の歴史を誇る岐阜市の長良川鵜飼いが5月11日（金）に開幕しました。

当日は、午後3時から関係者によるシーズン中の安全と豊漁等を祈願するとともに、新たに完成した観覧船の進水式も行われ、「清風丸」と命名されました。（柴橋市長が長良川の爽やかな風をイメージして名付けられました）

また、当日は、関市の長良川でも小瀬鵜飼いが開幕しました。

鵜飼いは、岐阜市、関市ともに10月15日（月）まで開催されますので、皆様、長良川の夏の風物詩に触れてみてはいかがでしょうか。



安全祈願（玉串奉奠・杉山鵜匠頭）



新造船進水式（船名札の除幕）

愛知用水総合管理所

○ 中日本レガッタが開催されました

4月20日（金）から22日（日）の3日間、愛知池におきまして、「第63回中日本レガッタ」が愛知県ボート協会及び中日新聞社の主催により、盛大に開催されました。

全国各地から集まった約450組のクルーが、熱戦を繰り広げました。

※詳しくは下記のホームページをご覧ください。

[http://www.water.go.jp/chubu/aityosui/e\(tayori\)/00\(top\)/e-01.html](http://www.water.go.jp/chubu/aityosui/e(tayori)/00(top)/e-01.html)

○ 愛知学院大学産官学連携授業で愛知池に関する講義を行いました

5月15日(火)、愛知学院大学日進キャンパスにて「産官学連携講座」が開催されました。本講座は、愛知学院大学が観光資源や観光政策に関する基礎知識や専門知識、観光ホスピタリティや情報収集力などの習得を目的として、日進市の観光関連職員などが講師となり、連携講座として実施されているものです。

今回は、日進市から講師の要請があり、「愛知池地域資源化の可能性と課題」と題して、大学生及び一般聴講者約100名に講義を行いました。

講義時間は1時間半ほどでしたが、水資源機構や愛知用水事業、愛知池の目的や周辺環境、機構での地域創生取り組み事例等の紹介を行い、機構事業に触れる機会の少ない大学生へのよいPRの場となりました。

本講座は、次年度以降も開催されるとのことであり、要請等があれば協力していきたいと考えています。

○ クリーンアップ愛知池を実施しました！

5月16日(水)、今年度2回目の「クリーンアップ愛知池」を実施しました。

この活動は、貴重な水辺と緑豊かな財産として、地域の方々に親しまれている愛知池の環境保全等を目的に、毎年4月から9月までの第3水曜日に実施しています。

今回は、14名の参加があり、少し蒸し暑さを感じる中、駐車場を中心にゴミを回収しました。

愛知池周辺には、植物や昆虫など、多様な生き物が生息しています。自然環境を守り、大切にしたいものです。



木曽川用水総合管理所

○ カビ臭物質対策（フラッシング操作）を実施

カビ臭物質(ジェオスミン)の対策のため年2回(4月、9月)水路のフラッシングと年1回堆積土砂の撤去を実施しています。今回は、4月24日

(火)～25日(水)の2日間で、最大4.65 m³/sを通水し、フラッシングを行いました。フラッシング時には、高濃度の濁度を伴う用水が流下しましたが、その後、濁度は低下し通常の状態に回復しました。カビ臭物質対策は平成21年度から継続して実施されていますが、岐阜県東部広域水道事務所の水質管理年報にも、水質改善の効果が評価されています。



○ 八百津町木曾川右岸用水土地改良区役員による視察

5月11日（金）、八百津町木曾川右岸用水土地改良区役員による木曾川総合用水の視察研修が行われました。視察者は理事長（金子八百津町長）、役員、事務局の総勢10名です。視察では、木曾川用水施設の概要、木曾川の歴史、水管理（平水時・洪水時）、施設維持管理の概要などパワーポイントを用いて説明を行いました。その後、操作室に場所を移し、堰・水路の制御装置（堰・水路コン）による監視制御の状況を視察いただきました。木曾川総合用水事業について理解を深めて頂く良い機会となりました。



○ 木曾川を美しく！児童が河川清掃

5月15日（火）木曾川大堰下流の左岸堤防において、稲沢市立長岡小学校6年生の児童21名が清掃活動を行いました。

同校では、平成26年から「木曾川の美化及び清掃活動」を行っており、今年度最初の開催となります。参加した児童らは、心なく投棄された多くのゴミを、燃えるゴミと燃えないゴミに分別しながら拾いました。中には小型の冷蔵庫やパソコンなどの家電もあり、汗を流しながら力を合わせて河川敷から小学校までゴミを運び分別処分を行いました。

木曾川用水総合管理所では、今年度5回予定しているこの清掃活動のお手伝いを通じて、子どもたちが木曾川に愛着をもってきれいにしていこうとする気持ちを育めるよう、これからもお手伝いしてまいります。



○ 利水者・関係事業者と水質協働学習会を開催

5月16日（水）三重県企業庁、王子マテリア（株）、水資源機構による水質協働学習会を開催いたしました。

この学習会は、平成21年2月に木曾川用水から送水した原水について、三重県の浄水場における臭気項目が基準値を超過したため水質調査を行ったところ、木曾川大堰上流約1.5kmの製紙工場排水が原因の一端となっている可能性があったことから、利水者の水質に対する要望・問題を共有し、事業者間の情報・意見交換と連携強化を図るため、平成21年度から3者での学習会を実施しているものです。今回の学習会では、臭気サンプルによる臭気研修、企業庁から平成29年度の水質検査結果と平成30年度水質検査計画の報告、機構から水質事故対応訓練の報告を行い、意見交換の後、工場排水の処理方法と水質監視状況を視察しました。



岩屋ダム管理所

○ 岩屋ダムで校外学習が行われました

5月2日（水）、下呂市金山町にある金山小学校4年生が社会科校外学習の一環として、岩屋ダムと馬瀬川第一発電所の見学に来られました。

岩屋ダムでは、ダムの役割やしくみについて学習するとともに洪水吐ゲート室や中部電力（株）の斜流型ポンプ水車を見学していただきました。普段立ち入ることのできないダムのゲート室や発電施設での見学に、小学生の皆さんは興味津々の様子でした。

岩屋ダムでは地域の子供達にダム施設を身近に感じてもらうため、今後もこのような施設見学会を続けていきます。



阿木川ダム管理所

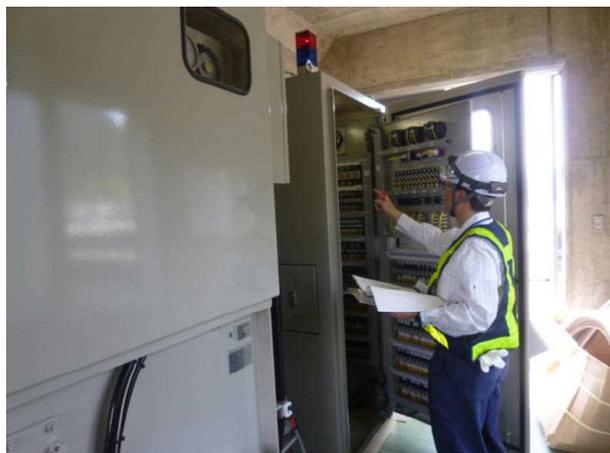
○ 洪水対応演習に引き続き、洪水調節を行いました

4月23日（月）、24日（火）の2日間、これから迎える洪水期に備え、洪水対応演習を実施しました。

演習においては、関係機関に協力していただき防災操作に関する通知や情報等の連絡、下流河川状況の巡視、ゲート点検等を実働で行いました。

演習では、洪水対応の進捗をホワイトボードに書き込み、全員で情報共有を行い、自身の次の行動を考えながら、実際の洪水対応を同じ緊張感を持って臨みました。

また、演習が終了した当日（24日）の夜からは、実際に大雨が降り、非洪水期でしたが、洪水調節を行いました。演習で確認した対応項目を踏まえ、適切かつ円滑な対応により防災操作を行いました。



徳山ダム管理所

○ 徳山ダム洪水吐きからの点検放流を行いました

徳山ダムでは、5月4日（金）、5日（土）の2日間、洪水吐きからの点検放流を行いました。普段は洪水吐きから放流することはありませんが、これから雨が多い時期を迎えるにあたり施設の操作を点検確認するとともに、ゴールデンウィークにあわせて多くの方々にダムの役割や機能を体感いただくため、地元揖斐川町の観光PRと協働して毎年実施しています。

今年は天候にも恵まれ、2日間で約2,000名の方々が来訪されました。

放流は、午前10時から午後3時までの間に毎正時から10分間行い、洪水吐きを流れ落ちる水流で現れるウロコ模様を目の当たりにして、その美しさに感動されていました。



○ 揖斐川町内の小学生が徳山ダムの体験学習を行いました

揖斐川町では、町内の小中学生に地元の徳山ダムをよく理解してもらうため、毎年授業の一環として徳山ダム見学を行っています。

今年は、児童たちにより良く徳山ダムのスケールや役割を理解いただけるよう、管理用船舶を使って洪水吐きや選択取水塔を間近で見ることができ、巡視体験を行っています。

初日の5月18日（金）には、町内で初めて巡視体験した養基小学校の児童たちに、ダムの役割や水の大切さ等を体感していただきました。大人になっても記憶に残るような体験になれば幸いです。

今後、6月にかけて町内の小学生に順次体験学習を実施していきます。



長良川河口堰管理所

○ 第23回木曾三川交流レガッタに参加しました！

5月13日（日）長良川国際レガッタコース（海津市海津町金廻地先/国営木曾三川公園長良川サービスセンター内）において、第23回木曾三川交流レガッタが開催されました。

当日は朝から雨で、レース開始とともに風雨ともに強くなるなか、76クルーが種別で熱闘を繰り広げました。

水資源機構からも当管理所、中部支社及び木曾川用水総合管理所から3クルーが参加し、大会を盛り上げました。

来年は皆様も参加してみても如何でしょうか。



味噌川ダム管理所

○ 地域の物産に貢献する味噌川ダム

昨年に引き続き、木祖村にある「湯川酒造店」の日本酒を、味噌川ダムの堤体内に貯蔵する取り組みが行われました。

この取り組みについては、「ダムの内部は温度が年中一定に保たれ、日本酒の熟成に適しているのではないか。」と、地元酒造会社に話したところ、湯川社長から賛同を受け、また、水源地ビジョンの特産品開発と地域活性化に当てはまると、木祖村と味噌川ダムも協力することで実現したものです。

ダム下流広場の監査廊入口から500m程奥にトラックで搬入。ひんやりとしたトンネル内は無風で、蔵や冷蔵庫よりまろやかな味の日本酒になるそうです。

木曾川源流のおいしい水と木曾産の酒米「ひとごち」が原料の純米吟醸（720ml）で、9月末まで貯蔵し、味噌川ダム貯蔵酒「木曾路」として名古屋方面にも販売されます。

木曾川の上下流交流における特産品の一品と期待し、水資源機構が管理するダム施設で酒を貯蔵するという取り組みは、昨年に引き続き、今回が二度目です。みなさん、秋をお楽しみに！！



三重用水管理所

○ 赤川の清掃活動を実施しました

5月11日（金）三重用水管理所は、ホタルの飛翔シーズンに備えて、菰野調整池（きらら湖）直下流の赤川沿いの清掃・除草作業を行いました。

これは、赤川において環境保全などについて地域活動を行っている「マこもの里自然に親しむ会」と協働で実施したものです。

三重用水管理所では、ホタルをはじめとする水辺の生物たちが、元気よく生活出来るよう引き続き環境保全活動にも取り組んでいきます。



